

福利厚生・その他特色



▶ 職員宿舎

病院に隣接した職員宿舎は4棟あります。十分な広さにエアコン等の設備も充実。割安な入居費用で安心して働ける環境を提供します。



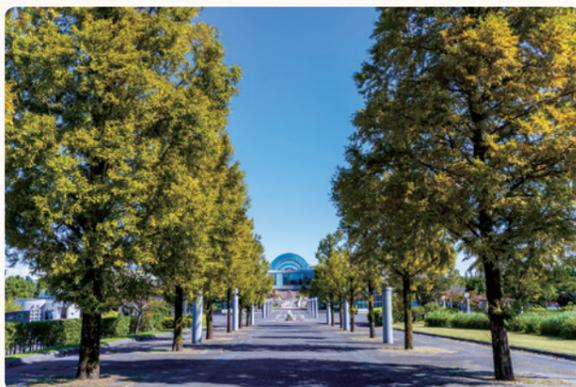
お子さまも
楽しく過ごせ
ます

▶ 保育所・レストラン

勤務中も安心してお子様を預けられる保育所は、病院の目の前に位置しています。また院内には一般の方も利用できるレストランやカフェコーナーもあります。



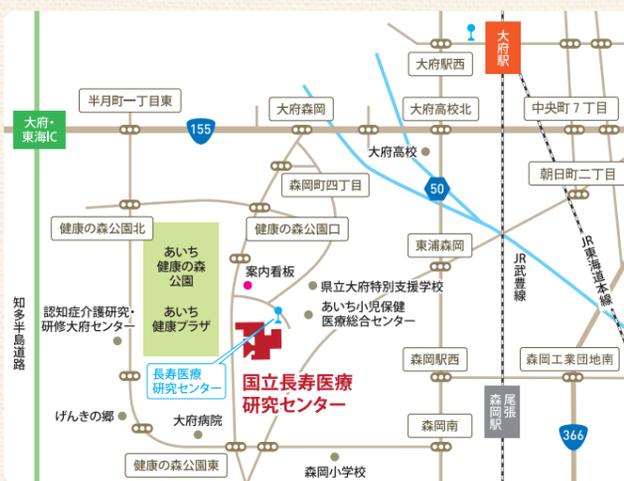
Living environment



周辺の環境・施設のご紹介

「充実した生活を送るための環境がここにあります。」
名古屋市の南東に隣接した、緑豊かな丘陵地帯に所在する国立長寿医療研究センター。目の前には、あいち健康の森公園が広がり、四季折々の花や樹木が眺められるその環境は、すがすがしさを心地よさを感じさせてくれます。近隣には、ジム、プール、温泉などが揃ったあいち健康プラザやショッピングセンターなどがあります。また、セントレアの愛称で親しまれる中部国際空港も近くにあり、名古屋市のベッドタウンとなっています。

交通のご案内



- ▶ JR名古屋駅からJR東海道線(上り)「大府駅」まで快速列車で12分
- ▶ JR「大府駅」西口から知多バスで10分(長寿医療研究センター下車)
- ▶ JR「大府駅」からタクシーで約8分
- ▶ 名古屋高速→知多半島道路(大府東海インター)から約10分
- ▶ 名四国道(国道23号線)共和インターから約15分



看護師募集の ご案内

Recruiting
Guide Book

Welcome





Greetings

看護部からのごあいさつ

「その人らしい健やかな人生を送るために“援助の手をさしのべる”こと」

老化のスピードは人それぞれ違いますが、誰にでも訪れる自然な成り行きを、本人だけでなく周囲の人々も自然に受け入れられるようお手伝いするのが、私たちの仕事だと思います。たとえ物事を思い出せないようなことがあったとしても、その悲しみや苦しみに寄り添い、尊厳を大切にしながら、その人らしいステップを進んでいけるような援助者でありたいと思います。

高齢者一人ひとりのペースに合わせながら笑顔で接することを大切に、看護を行っています。日常の何でもないことがスムーズに行える様にするところから、明るく活力ある高齢化社会につながるよう考えていきたいと思っています。

皆さまに
受け入れられる
笑顔の看護を



看護部の理念は「CHOJU (長寿)」です。

C H O J U

看護部の理念

- Challenge** 積極的に、前向きに、取り組みます。
- Hearty** 暖かい、思いやりの心を持って実践します。
- Outcome** 長寿看護の成果を提供します。
- Joyful** 生き生きと自立した生活を共にめざします。
- Useful** 役立つ情報を発信し、高齢者の方々に支援します。

看護部の教育方針

高齢者看護の目的は、加齢という自然な営みの中で、病を得てもその人らしい健やかな老いを実現するために、援助の手をさしのべることではないかと、私たちは考えます。私たち看護部が患者さんに提供できることは、医療技術や知識だけではありません。最も大切にすべきことは、患者さん一人ひとりのペースに合わせて、自然と笑顔で場を和ませることができる、そんな看護ではないかと私たちは考えます。

高齢社会のニーズに応える看護をめざして

「高齢者看護に特化した研修を行うなど、より高い知識と技術を追求」

看護の対象が高齢者であることをキーワードに、治療や検査などの介助、基礎看護技術である「食事・排泄・清潔ケア」などに対して、心地よい看護を提供していきます。また、在宅療養に向けての支援も実践しています。超高齢社会の今、私たちが対象としている患者さんは、急性期、慢性期を問わず高齢の方が多くなり、高齢者看護の専門性がますます要求される時代となってきました。国立長寿医療研究センターの看護部では、そのような社会のニーズに応えるべく、院内教育でも高齢者看護に特化した研修を行うなど、より高い知識と技術を追求しています。

ニーズを
汲み取った研修や
教育を実施



在宅医療・地域医療連携推進部 「地域医療連携室」から一言

高齢化が進み医療の在宅移行が進む中、病院から地域へと継続性のある退院支援が課題になってきています。

そこで、当センターでは、退院後に患者さん・ご家族に対して、地域の医療チーム

と連携して支援する活動「トランジショナル・ケア」を2016年から開始。状況に応じてチームを編成し、退院後ご自宅に3ヶ月間訪問し、看護の知識や技術を伝えるという取り組みです。

住み慣れた自宅に長く住みたいと希望される患者さん、それを支えたいと考えるご家族の皆様、少しでも安心・安全に在宅医療を継続していただくように、さらに充実した活動を展開しています。



看護体制

(10:1看護 二交代制)

病棟構成

| 看護単位 | 病床数 | 夜勤体制 | 看護方式 |
|----------------|-----|------|---------------------|
| 第2診療棟 | | | |
| 5W病棟 外科系・HCU | 50 | 5:5 | チームナーシング 一部機能別看護 |
| 5N病棟 感覚器 ココモ | 50 | 3:3 | |
| 4W病棟 認知症対応 | 50 | 4:4 | |
| 4N病棟 回復期リハビリ | 50 | 3:3 | |
| 3W病棟 内科系 | 50 | 3:3 | |
| 3N病棟 内科系 | 50 | 3:3 | |
| 南1病棟(地域包括ケア病棟) | 45 | 3:3 | |
| 計 | | 345 | |

確かな知識と技術、そして温かい心をもった看護師を育てるために。

「主体的に考え行動する、質の高い看護を提供できる人材育成をめざして」

新採用者には、職場環境に適応できるように、病院や看護部門・関連部門の概要についてのオリエンテーションおよび高齢者看護の専門性を活かした講義や看護技術演習を行っています。さらに、2年目以降は、ラダーシステムをとり入れたプログラムの他、全職員を対象にした高齢者専門ラダーコースや、静脈注射（院内認定）コースなどのプログラムを実施しています。特に、高齢者専門ラダーコースでは、エンドオブライフ期における看護の役割やチームアプローチについて考察したり、高齢者の意思決定支援の重要性を考えながら在宅医療推進に向けた取り組みについて学びを深める機会を設けております。臨床実践の場において老年看護の専門的知識をいっそう深められるような教育をめざしています。



新しい高齢者看護の開発をめざして。

「質の高い看護の提供のため学び続ける努力を。」

当院では先駆的な高齢者看護の推進をめざし、専門的で高度な知識と技術を備えた専門看護師や認定看護師が活躍しています。自ら実践し後輩を育て更なる高みをめざして日々学び続ける努力を怠りません。

専門的な
人材が育つ学びが
あります

看護部の教育目標

1. 国立長寿医療研究センターおよび看護部の理念や役割を理解し、組織に貢献できる人材を育成する
2. 超高齢社会のニーズに対応できる専門的知識と看護技術・判断力を持ち、問題解決能力に優れた看護師を育成する
3. 看護の質を向上させるため、看護職としての倫理的態度を養い、管理能力を高め、教育や研究活動に取り組む看護師を育成する
4. 高齢者看護を発展・推進していくための看護活動、情報発信や提言ができる看護師を育成する
5. 専門職業人として資質の向上をはかるための主体的な自己研鑽ができる看護師を育成する



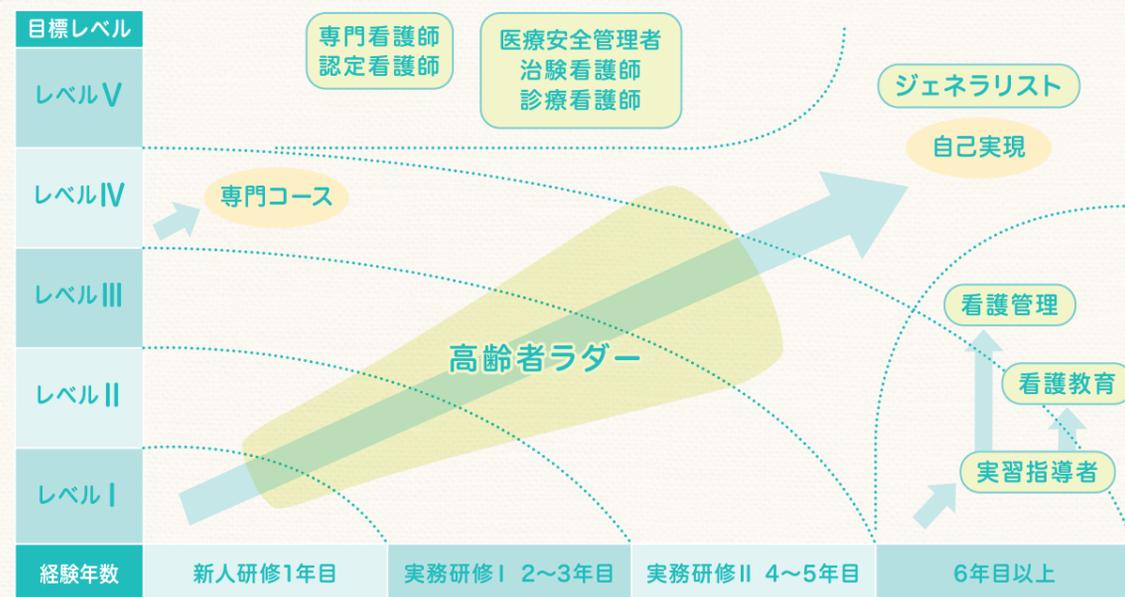
日々の努力で質の高い看護を。

年間スケジュール

なりたい自分への成長をめざす



現任教育構造図



充実の
専門職看護師

看護部のスペシャリスト数

- ▶ 認定看護管理者 1名
- ▶ 老人看護専門看護師 1名
- ▶ 感染管理認定看護師 2名
- ▶ 摂食・嚥下障害看護認定看護師 2名
- ▶ 認知症看護認定看護師 2名
- ▶ 脳卒中リハビリテーション認定看護師 2名
- ▶ 慢性呼吸器疾患看護認定看護師 1名
- ▶ 診療看護師（プライマリ領域） 2名

院外研修



- ▶ 認知症看護認定看護師研修
- ▶ 摂食・嚥下障害看護認定看護師研修
- ▶ 国立看護大学校主催の研修
- ▶ 独立行政法人国立病院機構主催の研修
- ▶ 実習指導者研修
- ▶ 看護協会主催の研修
- ▶ その他セミナー

※他施設からの講演依頼や研修生も受け入れています。
※看護資格を持っていないが仕事から長い間離れていて、再度就職したいという方への支援として、新卒採用者と同様に、生命に直結する基礎看護技術については、再就職時におさらいをします。
病棟でもブレセプターをつけ、心理的なサポートも重視しています。



先輩看護師からのひとこと



内科系病棟
看護師

私がこの病棟に配属となり2年半が経ちます。検査や処置、点滴など多い病棟です。スタッフはみんな優しく話しかけやすい雰囲気なので、忙しい中でも多職種で協力しながら日々楽しく働く事が出来ています。寝たきりで介助が必要な患者さんも多いため、病棟では褥瘡発生予防にも努めています。心不全や糖尿病の勉強会を定期的に行い、どの年代の看護師も前向きに知識の習得に励んでいます。



回復期
リハビリテーション病棟
看護師

未就学児を育てながら新人看護師として働いています。この病棟では患者様のADLの向上を身近に感じることができ日々看護師としてのやりがいを実感しながら楽しく働いています。また、研修では繰り返しの演習やチェックリストを用いた指導を受けながら、看護技術の習得に励んでいます。子育てしながら働いている先輩方も多く、仕事面や私生活面でのアドバイスをいただき、両立できるようシフトも調整していただきながら働くことができています。

協力しながら働ける、やりがいのある日々

新病棟と各施設のご紹介

「診療機能と研究機能、そして地域が一体に。」

診療機能と研究機能が一体となり、認知症の人やその家族の視点に立ち、地域と一体となって認知症の予防や医療・ケアの提供を目指す、そんな新病棟がOPENしました。

診療機能を担う病棟部門では、総合病院としての機能を併せ持ち、一般医療を行う内科系および外科系の病棟が配置されています。



地域と一体になった医療の提供を!

現場で働く看護師さんからひとこと

「患者さんとの出会いは、看護師が成長していく“たからもの”」

本人だけでなく周囲の人々も自然に受け入れられるようお手伝いするのが、私たちの仕事だと思います。たとえ物事を思い出せないようなことがあったとしても、その悲しみや苦しみに寄り添い、尊厳を大切にしながら、その人らしいステップを進んでいけるような援助者でありたいと思います。高齢者一人ひとりのペースに合わせながら笑顔で接することを大切に、看護を行っています。日常の何でもないことがスムーズに行える様にするところから、明るく活力ある高齢化社会につながるよう考えていきたいです。

とても快適で働きやすい環境です!



New Word Introduction

広く、効率的な空間で、一人ひとりに向き合える看護を目指しています。



充実した設備のHCUやゆったり過ごせる特別室をご用意しています。

特別室・HCU

HCU and Special Room

認定看護師からのひとこと

患者さんに寄り添う看護を。



認知症看護
認定看護師

認知症をもつ患者さんへの看護は、患者さんの視点に立つことがとても大切です。自分の思いを上手く伝えられない患者さんの苦痛や不安な気持ちに寄り添い、安心して療養生活が送れるように支援しています。これまでの生活環境や趣味など好きなことを取り入れ、その人らしさを大切にしています。また、院内全体の認知症看護の質の向上を目指して、多職種で構成されたチームで日々サポートしています。



脳卒中看護
認定看護師

脳卒中は、突然発症し、昨日できていたことができなくなったり、自分の想いを家族に伝えられなくなったりと患者とその家族の人生を180度変えてしまいます。患者に残された力を信じ、患者、家族の人生を取り戻すため、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師として患者・家族の想いに寄り添い、その人らしさを失わず生活の再構築ができるように多職種と協働しながら日々のケアに取り組んでいます。